

平成19年度 第5回市民活動サポートセンター運営委員会 会議録

平成20年3月19日（水）18:30～20:00

横須賀市立市民活動サポートセンター

出席委員 11名……飯塚、伊藤、井上、小野、加藤、柴崎、鷹野、多田、塚田、増田、渡辺
事務局 5名……YMCAコミュニティサポート 田邊、神山
市民生活課 小座野、佐藤、堀井

1 報告事項

次第に沿って報告を行った。

2 審議事項

- ・平成20～21年度運営委員長の改選投票を行い、井上昭委員が新委員長として選出された。
委員長職務代理の指名は新委員長と事務局で話し合い、次回運営委員会で報告、承認を行う。

[意見概要]

◆ 利用状況・利用者の声について

(事務局：指定管理者)

印刷機の騒音について、稼働台数や場所を変えたり、ホワイトボードで囲ったりして騒音計で測ってみたが、50～65dBでそれほど変化がなかった。むしろ用紙をそろえる音大きいことが分かった。作業台に布を置くなど工夫したい。

(小野委員)

布よりゴムの方がよいのではないか。

曜日・時間別の利用統計を見ると、日曜21時以降の利用が少ない。4月からはコミュニティセンターの利用時間が21時までとなるので、サポートセンターの利用時間も見直してはどうか。エコの観点からも試験的に導入できないか。

(事務局：市民生活課)

開館時間の変更は条例を改正する必要がある。サポートセンターでは以前同じような意見が出たが、運営委員会で否決された。

(柴崎委員)

経費削減という視点がある。

(事務局：指定管理者)

利用者が少ないときは、機器の整備などを行っている。

(小野委員)

針や糸を使っている団体に対しては、すぐ近くにキッズスペースがあって危険なので注意するように掲示をしてほしい。掲示するだけでも効果がある。

(事務局：指定管理者)

掲示をすると同時にスタッフも気をつけるようにする。活動内容についてもスタッフが注意するようにしたい。

(鷹野委員)

印刷枚数の上限が設定されてから苦情は出ているか。

(事務局：指定管理者)

版でまとめにくいという意見は出ているが、料金設定に関しては仕方がないと捉えているようだ。

(渡辺委員)

議会で、サポートセンターの使い勝手が悪いという意見が出ている。利用者アンケートは、施設の利用者、つまり市民活動を行っている人からの感謝の意見がほとんどで、他の声が出にくいのでは。

(事務局：指定管理者)

利用票の後ろに書かれた意見は全て記載しているが、無記名の意見箱を設置し、市民活動を行っていない人も意見を書きやすいような環境を整えたい。YMCAとしても、人を迎えるセンターづくりに取り組み、スタッフ間でノウハウや課題を共有している。

(鷹野委員)

受付に誰もいないことがないようにしてほしい。相反するが、スタッフが時々館内を巡回して目を配ってほしい。

◆ のたろんフェアについて

(事務局：指定管理者)

参加者数は定点観測で毎回同じカウント方法である。今回は参加団体が多く、各団体から1、2名出しているためか人数が非常に増えている。スタンプラリーも参加者が増えた。実行委員やボランティアの参加も多く、事前準備からたくさんの人の協力で開催することができた。

報告会では、「展示とブースが離れていた」「サポートセンターから支給された不用品の売れ残りが多かった」「慣れている団体はブースからはみ出したり勝手に撤収してしまうため、目に見える形のルール作りが必要」などの意見が出た。

(事務局：市民生活課)

のたろんフェアの実施時期についてはいろいろと検討されてきたが、気候のよい時期は自分たちの活動で忙しく、結果的に2月になった経緯がある。

施設内での募金や署名活動については、普段は禁止されているが、フェア当日だけなら市長の許可を取れば可能となる。募金や署名の積極的な呼び込みなどは好ましくないが、実行委員会で判断し、ルールを決めればよい。

(柴崎委員)

募金は使途が明確でなければやらないほうがよい。各団体のブースできちんと目的が分かるようにする必要はある。

(飯塚委員)

7月にドブ板バザールが100回記念を迎えるので、サポートセンターも一緒に何か出来ないか。

◆ 市民公益活動団体について

(渡辺委員)

「PCスマイル」は内容を見る限り公益かどうか分からない。

(事務局：指定管理者)

1月から情報ボランティアとして活動している。

「わくわくライフ」はこれから活動を始める団体である。

◆ 運営委員長の改選について

(事務局：市民生活課)

投票の結果、最高得票数を獲得した井上委員にお願いすることとしたい。

新委員長には20年11月以降の指定管理者変更に向けて、選考委員会に参加していただく。

委員長職務代理は、要綱では委員長が指名することになっているが新委員長と事務局と話し合い、次回運営委員会で報告し、承認を得たい。

—拍手をもって承認—

次回の運営委員会は5月15日(木)18時30分からとする。なお、来年度から運営委員会の開催回数が4回となる。その他の日程については5月の運営委員会で提示する。

以上